

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		在宅医療・介護連携推進事業費（特別会計）[在宅医療介護連携推進事業]									
予算科目	款	4	地域支援事業費	項	3	包括的支援事業・任意事業費	目	3	在宅医療・介護連携推進事業費	事業番号	1
事業の種別		<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)									
担当部署・課長名		地域包括ケア推進（高齢介護）課			地域包括ケア推進		係		課長名		石嶋 洋平
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		2 - 2	
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)		51	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市内65歳以上高齢者				65歳以上高齢者人口						
	→										
1 この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、市及び地域における医療・介護関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制の構築。				①在宅医療・介護連携支援センターが受けた相談件数 ②多職種連携研修会の開催回数 ③東大和市地域包括ケア推進会議専門部会（在宅医療介護連携推進部会）の開催回数						
	→										
1 この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①平成29年度から在宅医療介護連携支援センターを設置し医療機関及び介護事業所からの相談を受け付けた。また、事業所に対するセンターの周知を行った。 ②専門職向けの多職種連携研修会や市民を対象とした講演会の企画。 ③在宅医療介護連携推進部会を開催し、医療・介護連携に関する課題について協議した。				①令和3年度相談件数：いもくほ2,138件、なんがい483件、計2,621件 ②1回 ③3回						
	→										
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	人	23,062	23,275	23,389					
	成果指標	②の数値	①: 件 ②: 回 ③: 回	①: 2,344件 ②: 1回 ③: 3回	①: 2,839件 ②: 1回 ③: 2回	①: 2,621件 ②: 1回 ③: 3回					
	目標	②の目標値	件	2,205	2,344	2,839					
目標値設定の考え方 医療機関及び介護サービス事業所の連携を図るため、前年度実績を目標に設定した。											
3 経費	活動指標	③の数値	①: 件 ②: 回 ③: 回	①: 2,344件 ②: 1回 ③: 3回	①: 2,839件 ②: 1回 ③: 2回	①: 2,621件 ②: 1回 ③: 3回					
	事業費(実績)		円	13,827,171	13,694,200	13,830,416		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	2,740,250	2,789,554	2,836,928					
		特定財源(国・都・他)	円	11,086,921	10,904,646	10,993,488					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5						
	所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
職員人件費	職員人件費(再任用以外)	円	4,155,000	4,190,000	4,125,000						
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0						
事業費+人件費		円	17,982,171	17,884,200	17,955,416						
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成29年度										
	(2) 環境の変化 医療職及び介護職などの専門職間の顔の見える関係はある程度構築されたと考えている。他方、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)や在宅医療介護に関する市の取組内容について、今後も継続して市民へ周知していくことが必要である。										

事業名称	在宅医療・介護連携推進事業費（特別会計）〔在宅医療介護連携推進事業〕			
担当部署・課長名	地域包括ケア推進（高齢介護）課	地域包括ケア推進	係	課長名 石嶋 洋平

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について なし。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
7 課題	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 なし。			
	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 本事業を推進するためには、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の幅広い協力を得る必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 令和3年度に開催した在宅医療介護連携推進部会では、三師会をはじめ医療・介護関係者と共に、市民に対する本事業やACPの周知を目的とした冊子の内容等を協議した。			
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	施策名： 高齢者保健福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
	9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 令和3年度は、平成31年度、令和2年度と同様に、ACPや在宅医療介護連携に関する市民への普及を目的に、講演会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、講演会が中止となった。このため、今後同様の講演会等を開催し、市民への普及啓発を行う予定である。		
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
引き続き、本事業を実施するためには、医師会、歯科医師会、薬剤師会を始め、医療・介護関係者が連携する必要があることから、各機関との関係を構築しながら進めていく予定である。				